

【時 評】

47号(2010年3月)

稼働率99%の人気旅館

法政大学大学院政策創造研究科教授・アタックス顧問 坂本 光司

先般、大学院生数名と栃木県の「A」という頭文字の旅館に訪問調査してきた。場所は、東北新幹線「那須塩原駅」から車で約30分、東北自動車道からは「那須IC」から20分程走った山あいにある。

今回、「A」旅館にわざわざ訪問したのは他でもない。人里離れたこんなにも交通不便な場所に立地していながら、そればかりか、その周辺には飲食店や小売店等も1店舗もない、一軒宿の温泉旅館とはいえ、その稼働率は週末ばかりか、平日を含む年間平均稼働率が99%という旅館があると仲間から聞いたからである。

周知のように、旅館業界は旅行ニーズの「安・近・短」化や海外旅行へのシフト、さらには続々とオープンする都市部の豪華なホテルとの競争激化等もあり、その経営実態は年々厳しさを増している。

例えば、このことを、業界の実態を定点定時観測している「衛生行政報告」(厚生労働省)で見ると、1997年当時68,982軒を数えた全国の旅館数は、10年後の2007年統計では52,295軒に激減している。

この僅か10年間で16,687軒、率にして24.2%もの大幅な減少である。この10年間で我が国で経営していた旅館の、実に四軒に一軒が廃業や倒産してしまったことが示されている。そればかりか、競争激化の中で、その稼働率も年々低下し、業界の年間平均稼働率は今や40%前後といわれている。この結果、その経営状態も年々悪化し、今や業界の約70%は赤字経営に苦しんでいる。

年間平均稼働率が70%以上であれば、優良旅館といわれるので、「A」旅館の99%は、驚異的な稼働率なのである。しかもこうした状態が、既に10年以上も持続しているというから凄い。

では、なにゆえ「A」旅館が、これほどまでに顧客の高い評価を受け続けているのであろうか。その要因は多々あるが、その最大の要因は「A」旅館では、価格競争や宣伝競争といった中小企業が決してやってはいけない競争を意識的に避け、歓迎する客層を絞り込むとともに、旅行業者任せではない自身が主体となり、顧客の心を満たす「感動経営」を全社一丸となって推進してきたからである。

もう少し具体的にいうと「A」旅館では、ターゲットを誰でもではなく高齢者、とりわけ後期高齢者に絞り込み、この人たちが行きたくなる旅館経営に特化したのである。

ちなみに、「A」旅館では、定期的に演劇が開催されているが、筆者等が訪問した当日は、旅館スタッフを役者にした「瞼の母」というタイトルの演劇が開催されていた。スタッフの迫真の演技ということもあり、後部座敷から約300名の高齢者の様子を見てみると、ハンカチで涙を拭っている人、役者の厳しい言動に舞台に向かい涙声で嘆願をする人等...、驚かされた。また途中、トイレ等のため、移動するお年寄りに対する旅館スタッフの親切丁寧な気配りは見事の一言であった。さて「A」旅館とはどこであろうか....。

・統計を経営に活かす～ビジネスチャンスがみえる～

47「消費の県民性を探る その後のデータ変化を見る 3」

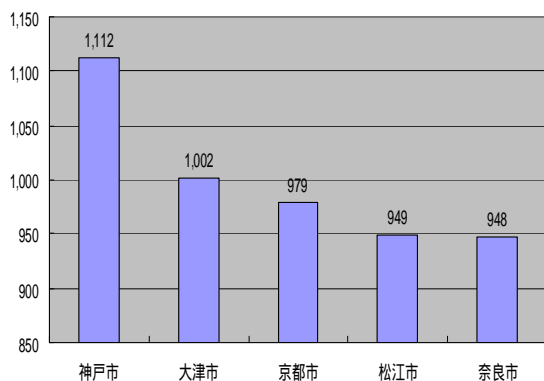
アタックスグループと当社顧問である法政大学大学院の坂本光司教授研究室が共同研究した成果が『消費の県民性を探る』というタイトルで2007年に出版された。今回は、出版から約2年が経ち、消費の県民性はどのように変化したのか、しなかったのかについて、順次見てみよう。

食パンの47都道府県の平成12～16年の月間平均消費支出額を見ると、上位5位は神戸、大津、京都、松江、奈良の順番であった。次にこれを平成18～20年でみると、上位5位は神戸、京都、奈良、広島、鳥取の順番である。この間、2位であった大津は8位に順位を下げ、逆に11位であった広島が4位、14位であった鳥取が5位に順位を上げている。

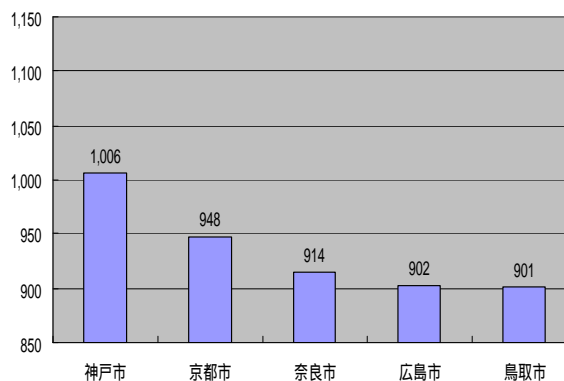
一方、神戸は依然として全国第1位の消費支出額である。また山形は平成12～16年の消費支出額が最下位、そして平成18～20年でも最下位である。こうしてみると、兵庫県民の食パン好き、山形県民の食パンをあまり消費しない県民性は依然として続いているといえる。

(詳細は調査研究事業室に)

H12～H16年 食パンの消費支出額(円) 上位5県



H18～H20年 食パンの消費支出額(円) 上位5県



・調査研究事業室からのセミナー等のお知らせ

1. 去る10月8日(木)より開催してきました、アタックス経営革新塾2009年下期は3月18日(木)が最終講となります。

詳細はこちら <http://www.attax.co.jp/seminar/detail/00538.html>

日 時：2010年3月18日(木) 16:00～18:00

テ マ：「後継者とそれを支えるブレインの育成～ネクスト・ジェネレーションの育て方～」

講 師：株式会社アタックス 執行役員 静岡事務所 所長 鈴木茂和

会 場：静岡市産学交流センター ペガサート

定 員：15社30名

受 講 料：2,100円(税込)で2名様までご参加いただけます

2. 弊社顧問の坂本光司教授の新著『日本でいちばん大切にしたい会社2』(あさ出版)が1月26日に発売されました。33万部のベストセラーとなった前著『日本でいちばん大切にしたい会社』(2008年初版)の続編となります。書店等でぜひご購入ください。

*本ニュースに関する詳細は、アタックス調査研究事業室(坂本、杉山)までお問い合わせください。

株式会社アタックス 調査研究事業室

TEL(03)3518-6363 (東京事務所) TEL(054)205-8180 (静岡事務所)

URL: <http://www.attax.co.jp>